

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和7年3月25日

事業所名

療育サポート こぼると

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	1		・活動内容によっては小グループに分かれて活動をする等の対応で室内を満遍なく使えるように配慮しています。	・個室の確保をして、より過ごしやすい環境を提供できるようにします。
	2 職員の配置数は適切である	3		1	・法令を順守し、人員の配置を行っています。	・ご利用者様の特性に合わせて安全に安心して過ごして頂ける場所を提供できるように人員配置を行います。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	1		・毎日職員が室内点検を行い、危険予測がある場合、その都度安全対策を行っています。	・今後も安全第一の環境で療育提供ができるよう点検等を続けていきます。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4			・担当業務についての見直しを定期的に行い、業務改善を行っています。	・月1回以上の支援会議や毎日のミーティング等で担当業務についての報告や業務改善の提案を継続します。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4			・日頃から保護者様より貴重なご意見をいただいた場合は出来る限り改善に繋げるようにしています。	・年1回以上の事業所評価アンケートの結果や保護者様からの日頃の声を今後も業務改善に繋げます。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4				・今後も継続します。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	2	1		・外部評価については今後検討します。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	1		・毎月1回職員全員参加の会議を行い、必要な研修参加も心掛けています。	・職員のスキル向上を目的に外部研修等への参加も積極的に行います。
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4			・支援会議で保護者様や職員で話し合いを行い、ニーズに沿って計画書の作成をしています。	・今後も継続します。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4				
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	4			・支援会議や毎日のミーティング等の場で職員で話し合って毎日の活動プログラムを立てています。	・今後も職員間で活動プログラムの立案を行い、適切な支援提供を継続します。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4			・アイデアを出し合い、活動プログラムを検討しています。	・今後も楽しみながら参加してもらえる活動プログラムの検討を行います。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4			・毎月の活動プログラムの立案を行い、担当職員がスケジュールを検討し、支援を行っています。	・今後も継続します。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4			・利用状況に応じて個別活動と集団活動の活動内容を検討し、実施しています。	・今後も継続します。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4			・毎日のミーティングを行い、必要な情報共有を職員間でしっかり行い、当日の支援内容や役割分担について確認を行っています。	・今後も継続します。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	1		・帰りの送迎後ではなく、翌日の支援前のミーティングの際に情報共有を行い、業務日誌に細かい情報も記載し、共有できるようにしています。	・今後も確実に情報共有が行えるように翌日のミーティング時に時間をとり、職員間の情報共有を確実にしています。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4			・当日の様子や療育内容を利用時は必ず記録し、支援内容の確認と再検討を行っています。	・今後も継続します。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4			・制度に従い、毎月の職員支援会議や保護者様参加のモニタリングを実施し、見直し等を実施しています。	・今後も継続し、ご利用者様に適切な支援を行えるよう努めます。
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	4			・5領域支援を基に実施しています。	・ガイドラインの内容を職員に定期的に周知するよう努めます。	

関係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	1		・適した職員が参加しています。	・今後も継続し、適任な人材が参加します。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	3	1		・出来る限り学校の先生との情報共有を送迎時に行っています。 ・下校時間や年間行事等の共有は保護者様を通じて行っています。	・下校時間のダブルチェックをする等の確認作業を行い、必要な場合は学校に連絡を入れる等の連絡調整を継続します。 ・ご利用者様の学校での様子等の情報共有は今後も継続します。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	3		・現在、医療的ケアが必要なご利用者様の受け入れは行っていません。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	2	1	・直接的に情報共有を行った事は現時点ではありません。 ・現状は保護者様や相談支援事業所の担当者様から情報収集を行っています。	・今後、必要に応じて参加をします。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	2	1	・現在、まだ障害福祉サービス事業所等へ移行するご利用者様がいない為、実施していません。	・今後、必要に応じて情報の提供等を行います。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	2	1		・今後、連携して助言や研修を受ける事ができる環境作りを継続します。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			4		・今後、検討します。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している		1	3	・現状、協議会には参加していません。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4			・ご利用者様の現状の情報共有がしっかりと行えるよう、連絡帳だけではなく送迎時等の直接会えるタイミングで口頭でも伝えるようにしています。また、必要に応じて電話連絡も行い、保護者様からの意見も伺うようにしています。	・今後も情報共有を行いながら適切な支援の提供ができるよう継続します。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	2	1	・ペアレントトレーニング等の実施はしていません。 ・送迎時に保護者様から相談等があった場合は出来る限り保護者様に寄り添い、アドバイスや提案が出来るようにしています。	・今後も継続します。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4			・担当職員が契約時にしっかり時間をとり説明を行っています。	・理解してもらえるように細かい声掛けと説明を今後も継続します。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4			・保護者様から伺った話は、職員間で必ず情報共有を行い、適切な対応が取れるようにしています。	・今後も継続し、保護者様に寄り添った支援が提供できるように心掛けます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			4	・現在、実施した事はありません。	・今後、検討していきたいと思えます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4			・苦情申し立てシートを活用し、改善につなげる事ができるように心掛けています。	・今後も誠心誠意対応致します。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4			・定期的にSNS等での情報の発信やご利用時の様子・写真を保護者様に共有している。	・インスタグラムやブログの更新を行い、活動の様子を配信し、今後も継続します。
	35	個人情報に十分注意している	4			・個人情報の取り扱いに関する誓約書を保護者様と交わし、社外への個人情報の持ち出しは厳禁としています。	・個人情報の取り扱いには今後も十分留意します。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4			・必要に応じた支援を検討し、提案と提供を行っています。	・今後も継続します。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1		3	・現状行っていませんが、挨拶を行う事から地域との関わりを持つようにしています。	・今後、検討していきます。

非常 時 等 の 対 応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4			・目に入る場所に避難経路の掲示を行っています。	・現在活用しているマニュアルを保護者様へも周知できるようにホームページへの掲載を検討しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4			・避難訓練を行い、佐賀市への報告書も提出しています。	・現在活用しているマニュアルを保護者様へも周知できるようにホームページへの掲載を検討しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4			・出前講座(研修)や事例検討を行い、研修には全職員が参加しています。	・今後も継続します。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	1		・契約時に重要事項説明書や契約書の行う際に保護者様へ説明を行い、身体拘束適正化委員会等で検討を重ね、やむを得ない状況の確認と記録について共有を行っています。	・今後も継続し、定期的に委員会の開催を行い、検討を行います。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	1		・契約時にアレルギーに関しての情報共有を保護者様と行っています。 ・アレルギーがあるお子さまに対しては活動時に細心の注意を行うよう職員間での情報共有を行っています。	・今後も保護者様との情報共有を行い、必要に応じた適切な対応ができるように対応します。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4			・ミーティング等で事例検討等を行っています。	・今後も継続し、安全に安心して利用してもらえるようにします。